

【あそびの要素を高める体育あそび】

Sports Interface 下崎 将一

体育あそびは、「あそび」でしょうか？

指導するにあたり、必ずあそびの要素と非あそびの要素が運動の中に存在すると考えます。あそびの要素が高い指導ほど子ども達は積極的になり、主体的に活動に参加します。

エンドレスなルール設定でどの子どもも活発に！！

子ども達に合った挑戦のレベルかつ工夫や選択ができる機会を含む内容の体育あそびでは、時にエンドレスなルールにすると苦手意識のある子や劣等感のある子も誰もが活発に活動します。失敗しても何度も挑戦できる内容であれば、他人と比べるのではなく、自分自身の成長の比較に変わり、発達スピードが違う子と比較せず、苦手意識や劣等感を感じる事は無くなります。

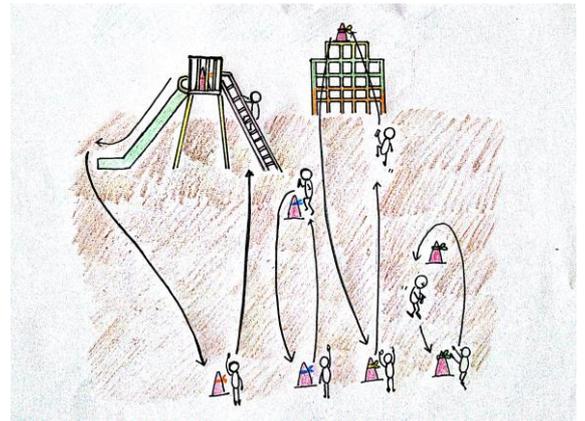
エンドレス リレー

自分でコースを選んで自分のコースのバトンをつなぐ！！エンドレスなリレーは、つなぐ楽しさや走る楽しさを与え、子ども達は、夢中になって何度も走ります。

折り返しの目印を移動させて・・・

遠距離コース、近距離コース、ジャングルジムコース、滑り台コース、時にはコースが隣のチームと交差、「もっと上にして」、「もっと遠くにして」と子どもからのリクエストが出てきます！！

徐々に折り返し地点の難易度を上げ、意外性をつくると走る事が楽しくてたまらなそうです！！



エンドレス ドッチボール

ドッチボールもエンドレスルールに！！アウトになった子がまた挑戦しやすいルールにする事で劣等感を感じずどんどん挑戦していきます。

☆円形ドッチ～内外交代バージョン～

※当たった人と当たった人が交代します。

☆ドッチボール～ためバージョン～

※アウトになった子は、各チームのアウトゾーンに集まり、当たった順番に並びます。

○○人たまったら当たった順番に復活します。

失敗しても少し待てば、また挑戦できる。子ども達は、色んな挑戦を積極的に行います。

